

YASAKA co.ltd.

ヤサカ本社竣工のご案内

株式会社ヤサカ
本社新築工事
2023年7月～2023年12月

株式会社ヤサカ
代表取締役社長 八坂 肇
総務部 部長 馬場 慎也
総務部 システム課 課長
法人営業部 事務担当 杉生 礼

株式会社澤村
代表取締役 澤村 幸一郎
建設プロデューサー 北脇 秀一
設計 南 勇次
施工管理 廣部 敦也
胡麻崎 望
空間コーディネーター 中島 浩子
コンセプトメイキング 川崎 沙和香
植栽 HAARU

Build by **SAWAMURA**



超高齢社会になくなくてはならない福祉用具のレンタルから、
腸内環境を整える発酵食品の製造販売まで。
「笑顔のある生活空間と健康な毎日へのきっかけ」をつくるために、
幅広い事業を展開する株式会社ヤサカ。
その根底に流れる、創業時から受け継ぐ“利他の精神”を新社屋へ。
見た目だけの意匠ではなく、企業風土を建物に宿らせることで、
世界でただ一つのフラッグシップオフィスが誕生しました。
ここからはじまる新しいヤサカに、ぜひご期待ください。

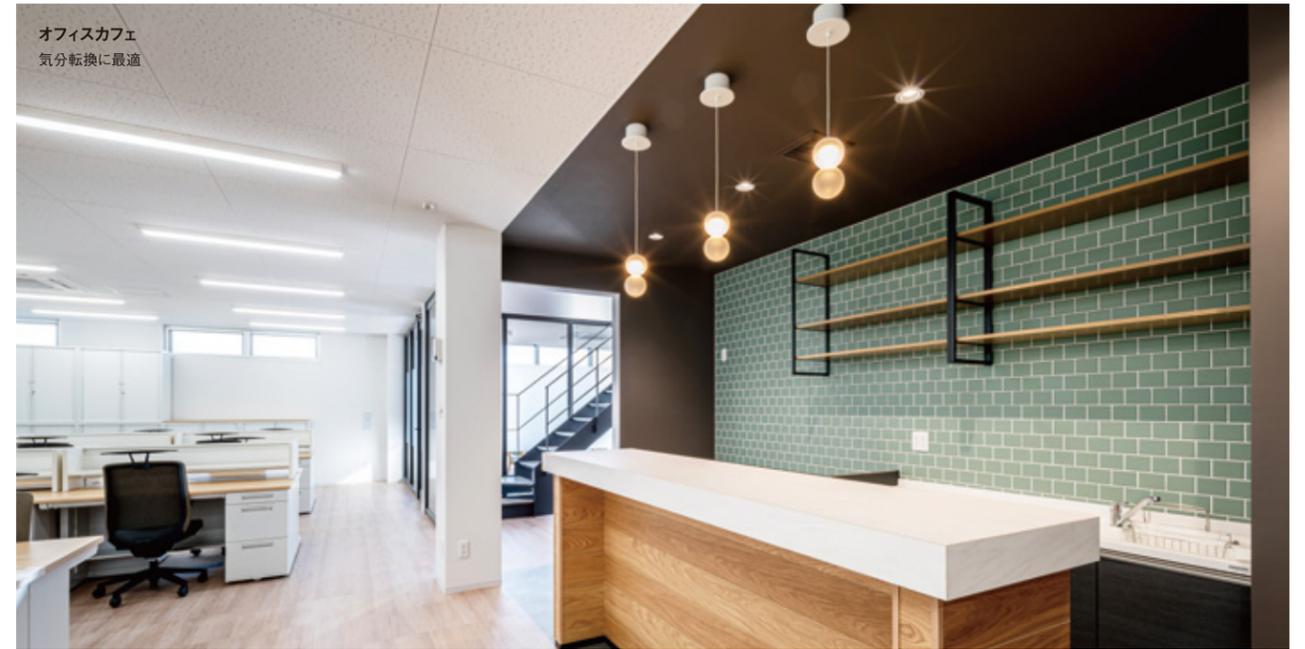
利他の心を受け継ぎ、未来へ。
ヤサカのDNAが宿る
フラッグシップオフィス。



明るく風通しのよい吹き抜けのエントランス



オフィスカフェ
気分転換に最適



重なるとヤサカのロゴに見える照明



光が差し込む広々とした1階オフィス



「利他行」を英語表記にしたサイン



オープンなミーティングルーム



開放感あふれるガラス張りの2階フロア





代表取締役社長
八坂 肇



総務部 部長
馬場 慎也



総務部 システム課 課長
法人営業部 事務担当
杉生 礼

お客様も、従業員も、誰もが気持ちよく働ける。 そのきっかけとなる新社屋へ。

福祉用具レンタルを中心に、健康な毎日へのきっかけをつくる事業を展開する株式会社ヤサカ。
企業の想いを建物に込めた新オフィスから、どんな未来を見据えているのか。
新オフィス設立プロジェクトのコアメンバーに語っていただきました。

新社屋設立の経緯を教えてください。

八坂 新社屋を建てようと思った理由は、大きくわけて2つあります。一つは、ありがたいことに従業員数が増え、事務所が手狭になったこと。商談スペースもゆったり確保できず、お客様にご不便をかけていました。もう一つの理由は、採用活動における競争力を高めたかったんです。

馬場 「ここで働きたい」と思っていたかためには、給与や休日の数もそうなんですが、やっぱり毎日通いたくなる環境が大切ではないかと思えます。そのためにも、オフィスそのものにも洗練された働きやすいデザインが必要ですね。

八坂 社屋そのものが広告になる。新たに設立するからには、そういうラッシュアップとなるオフィスを求めるようになっていきました。



SAWAMURAに依頼する決め手となった理由は何ですか？

八坂 デザイン性の高い建物を手がけていることもさることながら、採用を見据えた建物づくりをされているところも私の考えと一致したので、SAWAMURAさんに依頼しました。

杉生 採用を見据えた建物とは、その会社の理念が反映された建物でもあると思うんです。経営理念や社風を理解した設計で、多くの実績を残されているのがSAWAMURAさんでした。

馬場 相見積もりやコンペをするのではなく、SAWAMURAさんの一択でしたよね。依頼後はプロジェクトチームを結成し、私たちの想いをSAWAMURAさんにぶつけ、それをもとに建物のプランをご提案いただきました。



内装や外観などのこだわりを教えてください。

八坂 まず建物のコンセプトは、「人が集まりたくなる場所」。たとえるなら、会社を「スターバックス」のような存在にしたいと考えました。従業員にとっては、通勤したくなる場所に。デスクに縛られることなく、社内のどこにいても自由にリラックスして仕事できるようにしたかったんです。

馬場 そして、八坂の想いをプロジェクトチームで共有し、「じゃあ実際にどんな機能をもたせるといいだろう」というふう考えていきました。1階にカフェカウンターを設ける、2階は開放感あふれる大きなガラス窓を設えたりと、誰もが自然体でコミュニケーションできる空間になるよう、SAWAMURAさんと相談しながら進めていきましたね。

杉生 フリーアドレスにも対応できるよう、社内の至るところでIoTが使える仕組みづくりにも心がけました。

八坂 1階のエントランスに、会社の理念である「利他行」の英語表記「give priority to the other person」というサインを設えました。相手を想う利他の心は、企業の根幹にある大切なもの。それを押し付けがましくなく、クールに表現できているのが、とても気に入っています。



新社屋とともに創っていく、 将来のビジョンを聞かせてください。

八坂 オフィスは、その会社のシンボルだと考えています。理念や組織文化、これまで培ってきた実績と信頼などを象徴的に表現できているのが、本当にいいオフィスではないでしょうか。そういう意味では、手前味噌になりますが、今回の新社屋はとてよよくできたと思います。だからこそ、これから社会に出る若い人たちに、「滋賀県高島市にもこんな会社があるんだ」ということを知ってもらい、株式会社ヤサカに興味をもってもらいたいですね。

杉生 そうですね。デスクにしがみついているだけではダメ、というのではなく、いろんな働き方ができる会社であることを若い人たちに知ってもらいたいです。せっかくいい建物ができたのだから、さらに働きやすい環境づくりを推進していきたいと考えています。

馬場 事業を通じて、従業員がどこまで働きやすく、安心して長く働ける環境をつくっていけるかが、これからますます重要になってくると思います。そうすることでお客様へのサービスや品質も上がるでしょうし、その結果、新たな顧客獲得にもつながると考えています。従業員のやる気やモチベーションを引き出せる取り組みを、どんどんこの新社屋から生み出していきたいですね。

八坂 事業としての目標は、滋賀・京都の福祉用具の業界で一番になること。同時に、「笑顔のある生活空間と健康な毎日へのきっかけをつくる」ための事業展開も大切にしていきます。たとえば最近では、腸内環境から健康づくりのきっかけになる植物性乳酸菌を使ったお米のヨーグルトをつくりました。この商品を全国展開し、ヤサカのファンを増やしたいですね。そんなふうに、新オフィスを旗印にどんどん可能性を広げていきたいと、気持ちを新たにしています。